

漫画の変化、未来を表現

湯前町 崇城大生の作品展示



崇城大の学生による作品が並ぶ「那須良輔のひ孫たち。展」＝湯前町

湯前町の湯前まんが美術館は、崇城大（熊本県本市西区）芸術学部デザイン学科マンガ表現コースの学生たちの作

品を紹介する「那須良輔のひ孫たち。展」を開いている。2月2日まで。

同美術館は、町出身

の風刺漫画家・故那須良輔氏（1913～89年）の功績を後世に伝えようと、町が92年にオープン。那須氏のひ孫世代に当たる現代の学生の作品を展示し、これまでの漫画の変化や未来の可能性を表現しようと企画した。

同コース3、4年生15人の作品を展示。デジタル作画による漫画やイラストなど約100点が並ぶ。那須氏の作品を展示した「原点回帰～古今東西まんがのキセキ～展」も同時開催している。

開館は午前9時半～午後5時。高校生以上300円、小中学生100円。同館☎0966（43）2050。

（園田琢磨）